

読むこと 2

語句や表現が読めない

全 … 学級全体に対する指導や支援

個 … 個人に対する指導や支援

語句や表現の意味が分からない場合

①やり取りや発表で扱う語句に文字でも触れておく。全

友達が話した内容を理解できるように、学級の児童がやり取りや発表で扱う語句にはあらかじめ触れておく。一度にたくさんの語句を提示するのではなく、単元を通して帯活動で取り上げたり、ピクチャーカードにして文字と一緒に提示したりして、少しずつ慣れ親しませていく。ピクチャーカードを小さくしたカードを用意し、ゲーム的活動を通して慣れ親しませていくことも考えられる。

②読む前に音声で聞かせ、音声を手掛かりに推測して読ませる。全

音声で十分に語句に慣れ親しませてから文字を提示し、声に出して読ませることで音声と文字を関連させていく。英語を読む際も、音声を聞いてから英語を声に出して読ませるようにする。友達が書いたものを読む活動では、話す活動を行ってからワークシートなどに話したことを書かせ、それを交換して読ませることで、聞いたことを手掛かりに推測して読めるようにする。読めない時は、再度ペアで話す活動をさせる。

③話す活動で分からない語句が出てきた時には、尋ねたり、ジェスチャーや知っている語句を使って教えたりすることに慣れさせておく。全

読む前の話す活動の段階で、相手が話したことが分からなければ尋ねたり、それに答えさせたりさせる。“What’s ~?” “Slowly, please.” “One more, please.”などの表現をClassroom Englishとして扱ったり、ジェスチャーや知っている語句を使って相手に伝えたりすることに慣れさせておく。

語句や表現の音と文字が一致しない場合

①歌やチャンツで音声と一緒に文字に触れさせながら、十分に表現に慣れ親しませる。全

歌やチャンツに合わせて声を出す際に、音声と一緒に文字が提示される動画を活用し、音声とともに文字を見せながら表現に慣れ親しませる。慣れてきたら文字のみを表示したカラオケバージョンで、歌やチャンツに合わせて声に出して読めるか確かめさせる。

②英語を指で追いながら音声を聞かせる。全・個

音声で十分に表現に慣れ親しませてから文字を提示し、声に出して読ませることで音声と文字を関連させていく。英語を読む際には、紙面に書かれた英語を指で追いながら音声を聞かせ、音声と文字を関連させてから読ませるようにする。